

平成25年度

同好会事業報告

文学同好会

世話係 西原秀明

会長名 清水幸子

月日	実施した事業内容	参加人員
5月1日	第1回 同好会 役員決定・年間計画立案	10人
7月17日	信州大学教授 藤森裕治先生による講演会 (ワークショップを含む) 「バタフライマップ指導法～すぐれた論理は 美しい～」	16人
8月1日	文学散歩 「無言館見学」	6人

文学同好会では、今年も、例年のように「講演会」と、「夏の文学散歩」を行いました。

「講演会」は七月十七日（水）に「バタフライマップ指導法～すぐれた論理は美しい～」と題し、信州大学教育学部教授である藤森裕治先生にお話していただきました。

先生は今年、「すぐれた論理は美しい～Bマップ法でひらくことばの学び」という本を出版され、その内容について教えていただきました。読解文だけでなく、短歌を作るときや説明文でも、また算数やほかの教科でもBマップが活用できることがわかりました。そして、実際にBマップを使いながら、五年生の教材「天気を予想する」という説明文をどう指導したらいいか考え合いました。まずは、何を子どもたちに学ばせるかを考え、そして、課題として「著者の武田康男ってそんな人か。」という課題を設定してBマップを使い演習を行いました。

文章を手がかりとして筆者はどんな人か推理するこの課題は、思った以上に叙述を何度も読むことにつながりました。また、筆者像を推理することは本文の主旨と密接に関連していることもわかり勉強になりました。

夏の文学散歩は、八月一日（木）に、上田方面に行ってきました。始めに「無言館」に行きました。出征した画学生たちの作品にふれながら、戦争の悲惨さ、平和の大切さを考えることができました。第二展示室では珍しい蔵書がたくさんあり驚かされました。近くの前山寺や常楽寺もまわり東北の鎌倉と言われる町並みも見ることができ、いい一日になりました。

今年度も、郡の国語の研究委員会と上高井国語学会の会員の方々にも活動等のお知らせをして、参加していただきました。来年度も同様に協力していければと思います。

（会長 清水幸子）